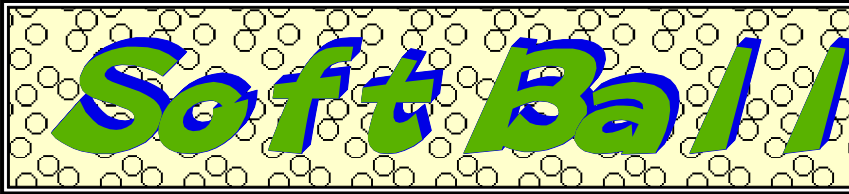


平成24年  
第2号  
通巻20号



発行者・編集者  
さいたま市ソフトボール協会  
会長 和田 隆雄  
広報委員長 田口 秀夫

## 24年度・総合開会式開催

とき：平成24年3月25日  
ところ：荒川総合運動公園

平成24年度の総合開会式が2年ぶりに開催され、ご来賓・選手・役員・審判員・記録員・指導者と消防音楽隊など関係者合わせて1,900人を超える方々が集いました。



【24年度・総合開会式】

「昨年は不幸な東日本大震災の影響で開会式を中止しました。本年は関係委員会で何度も打合せ会議を行い、手作りの開会式を復活しました。この様に盛大に参集いただけたことは、この上ない喜びです」と、和田会長の挨拶があり、32名のさいたま市消防音楽隊の生演奏による行進曲で選手の入場行進から始まりました。うららかな好天に恵まれ、国歌「君が代」斉唱のなか、国旗・市旗・協会旗がグラウンドで春風にはためき、小学生より一般男子一部まで、12部門の優勝旗が返還されました。

### 【来賓の方々とご祝辞の要旨】

さいたま市体育協会会長・北 清治様「世の中に感謝の気持ちをもって臨んでほしい」 県ソ協・市ソ協顧問 田中一弘様「感動と勇気で大会を盛り上げよう」 (株)ルイスビルスラッガージャパン・代表取締役 生原正教様「今回の様な盛大な開会式は、かつて経験したことはありません、感動を覚えました、用品をご愛顧頂く者として責任の重さを痛感致しました」

(来賓者ご紹介 (株)ルイスビルスラッガージャパン 生原 享様・板屋莉奈様、(株)アシックス 野沢 茂様)。

次に祝電が披露され、さいたま市長 清水勇人様より、「総合開会式の開催をお喜び申し上げます。ソフトボールを通じ皆様の絆がますます強くなる事と、貴協会の更なるご発展をお祈り致します」と。ナガセケンコー(株)代表取締役 長瀬二郎様からは、「総合開会式開催にあたり、協会活動が円滑に執り行われますようお祈り申し上げ、貴協会の一層のご繁栄を祈念いたします」



【声高らかに選手宣誓】

選手宣誓は、市ソ協加盟の300チーム、6,500人の選手を代表して、小学生男子「太陽フェニックス」萩原怜仁君と小学生女子「常盤スポーツ少年団」井渕美希さんが、『僕達、私達はスポーツマン精神で明るく楽しく正しくソフトボールを行います』と仲良く声高らかに宣誓しました。

式典の後半はお目当てのさいたま市消防音楽隊による軽音楽の演奏及び防災、災害時の対応、消防署のPRが行われ、しばし肩の力を抜いた。

恒例の県庁クラブによる技術指導は、特に今年改正された投球規則に関心が向けられ、吉形大祐投手がリーピングスローを実演し、浅見理事長が質疑と解説を行うと、日本のトップレベルのコンピを見ようと押すな押すなの大盛況のうち、午前11時無事総合開会式を終了しました。

## 会長挨拶

さいたま市ソフトボール協会  
会長 和田 隆雄

好天に恵まれ、本日ここに北清治・さいたま市体育協会会長、ルイスビルスラッガージャパンの代表取締役生原正教様、毎年同社のバットを寄贈していただいているアシックスの野沢茂様ほかご来賓の方々のご臨

席を賜り、さらに初代会長として当協会の礎を築いていただきました田中一弘顧問のご参列を得まして、さいたま市ソフトボール協会の総合開会式を開催できますことは大きな喜びとするところでございます。

本日は、柳沢楽長とさいたま市消防音楽隊においていただきました。さいたま市消防局の皆様には、グラウンドで怪我をした際の救助活動でお世話になっております。



【和田会長挨拶】

昨年は東日本大震災という国難ともいべき災害で、多くの被災者が生じたために開会式は中止といたしました。当協会でも、被災者に対する支援をお願いいたしましたところ、皆様から47万円の義援金と、ソフトボール用具を流されてしまった学校のためにバット・ボール・グラブを寄贈していただきました、この場をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。

本協会もさいたま市のご支援とご来賓各位のご指導をいただき、役員、審判団等の献身的な努力と参加各チームの協力によりまして、登録300チーム、会員約6,500人という大規模な団体に発展をしまして、10シーズン目を迎えることができました。

なお、今年は70歳以上のスーパーシニアの部もできましたことは、生涯スポーツとしての充実を現すもので誠に喜ばしいことです。今日のこの日を迎えるために役員各位は何度も会議を重ね、審判員は新しいルール勉強と実技研修を行ってまいりました。

さる3月20日には、役員とチーム有志で岩槻のグラウンドの駐車場の草刈りをいたしました。皆さんが楽しくプレーする陰には、このような目に見えない献身的な協力があることを忘れないでください。

又、今年は、投手の投法において、世界標準に合わせるべく大きな変更がありました。後ほど講習会で浅見理事長と彼が監督をしている埼玉県庁クラブチームの模範演技で学んでいただければ幸いです。

どうか今年も役員、審判員、各チームがお互いに敬意を持ち、グラウンドで思う存分活躍いただき、ソフトボールを生涯スポーツとして楽しんでいただきますよう祈念いたしましてご挨拶いたします。

# 平成24年度 春季大会 各種別 決勝戦結果

## 【一般男子 1部】 [24チーム]

8月5日 荒川総合運動公園 B面

浦和ツインズ	1 0 1 2	4
上木崎小PTAソフトボール	1 1 0 1	3

(浦和) 小林大佑-鶴岡真一  
 (上木) 吉田友洋・中田卓朗-中塚憲介  
 (二塁打) 深澤 翔[上木]  
 (MVP) 小林大祐[浦和ツインズ]  
 (審判) 並木 徹(球)・丸田 豊(一)  
 小林守信(二)・重盛 浩(三)  
 (記録・戦評) 本間幸次  
 (広報) 田口秀夫

### 浦和ツインズ挑戦を制し 春初優勝(通算3度目)!!



#### 【通算3度目の優勝・浦和ツインズ】

浦和ツインズ、初回2四球を犠打と犠飛で1点先制、3回諫山の一塁へのバント安打を送り井出の内野安打で1点追加、4回上木崎小の不正投球から乱れを突き2点を取り突き放した。

上木崎小PTAは1回二死二塁から深澤の二塁打で1点を取り追いつき、2回には一死二塁から連打で1点を取り逆転、再逆転を許し2点を追う4回2連打と暴投で1点を取り追うも後続を断ち切られた。両チーム共無失策の見応えある試合だった。

#### 浦和ツインズ・市原重行監督

◎炎天下の中、3試合を一人で投げきった小林投手を筆頭に、メンバー全員の力を結集して栄冠を勝ち取ることが出来、全員に感謝!! ありがとう



【惜しくも準優勝の上木崎小PTA】

## 【一般男子 2部】 [48チーム]

8月5日 荒川総合運動公園 A面

三橋4丁目ソフト部	2 0 0 0	2
和土小ソフト	3 5 0 x	8

(三橋) 野口博之・椋平和宏-長谷川拓也  
 (和土) 田口雅宏-石川 諒  
 (本塁打) 田口雅宏[和土小ソフト]  
 (二塁) 田口雅宏・中山慎介・斉藤健太  
 (MVP) 田口雅宏[和土小ソフト]  
 (審判) 吉村大菊(球)・大木千平(一)  
 大久保汎(二)・信田正行(三)  
 (記録) 清水智衣子(戦評) 本間幸次  
 (広報) 斉藤 豊

### 和土小ソフト投打に勝り、 逆転初優勝!!

和土小ソフト、1回5長短打で3点取り逆転、2回一死より6連続長短打の猛攻で一挙5点を取り試合を決めた。三橋4丁目ソフト部は初回2死二塁から4連打で2点を先制するも和土小・田口投手の前に討ち取られた。

#### 和土小ソフト・藤原英雄監督

◎日頃の練習の成果が出たと思います。皆さんのお陰で念願の優勝が出来ました。ソフトボール協会の皆様、いつもありがとうございます。



【初優勝の和土小ソフト】



【準優勝の三橋4丁目ソフト部】

## 【一般男子 3部】 [53チーム]

8月5日 北部工業団地記念公園 C面

バトラーズ	0 4 0 2 0 1	7
デ・カンタソフト	2 0 0 1 3 2 x	8

(バト) 石井 達-伊東大輔  
 (デカ) 翁長明菜-西川 忍・木野内則幸  
 (本塁打) 榎本雅聡・小川裕也[バト]  
 佐藤正樹・栗田 充[デカ]  
 (三塁打) 佐藤智也[バト]  
 (二塁打) 浦野悠介[バト]  
 大上竜平・島田健二[デカ]  
 (MVP) 翁長明菜[デ・カンタソフト]  
 (審判) 中村 登(球)・川村勝夫(一)  
 棚沢敬治(二)・佐藤史彦(三)  
 (記録) 杉木英生(戦評) 本間幸次  
 (広報) 松本文夫

### デ・カンタソフトボール 挑戦を制し初優勝!!

デ・カンタソフト、1回一死二・一塁から山崎の適時打で2点先制、逆転された4回無死一塁から島田の二塁打で1点、5回二死一塁から2連続本塁打で3点を取り再逆転、6回からタイブレーカーに入り一死二塁から木野内の三遊間安打、大上のサヨナラ二塁打で決した。

バトラーズは、2回4点・4回2点と逆転に成功し、6回のタイブレーカーでも1点を取りリードしたがサヨナラを喫した。

#### デ・カンタソフト・宮原芳夫監督

◎選手の皆さんが暑い中一生懸命やって下さいましたし、2試合共接戦で良く頑張ってくれました。



【初優勝のデ・カンタソフト】



【準優勝の表彰・バトラーズ】

**【壮年の部】** [24チーム]

7月29日 西遊馬公園 A面

高砂小PTAソフト	1 1 3 2 2	9
マツハシ49ers	0 0 0 1 2	3

(高砂) 本橋孝則—柳沢孝之  
 (マツ) 橋口 誠・吉田宏章—横田 勝  
 (二塁打) 肥沼信行③[高]佐藤慎一郎[マ]  
 (MVP) 本橋孝則[高砂小PTAソフト]  
 (審判) 川村勝夫(球)・樋口博司(一)  
 吉村大菊(二)・山本朝男(三)  
 (記録・戦評) 本間幸次  
 (広報) 神長伊佐男

**高砂小PTAソフト  
 毎回得点で春季初優勝!!**

高砂小PTA、初回一死一塁から二塁打で先制、2回一死二・一塁から山崎が送り田中の右前打、3回一死一塁から7・8番の連打と犠飛で2点と効率の良い攻撃で勝利。マツハシ49は3回まで高砂・本橋投手の前に抑えられたが4回2本の安打を内野ゴロの間に1点、5回一死一塁から佐藤の二塁打と暴投で計2点を追うも後続を断ち切られた。

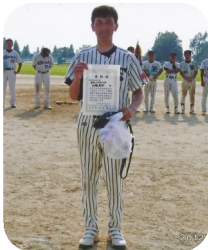


【通算2度目優勝の高砂小PTAソフト】

**高砂小PTAソフト・肥沼信行監督**

◎チーム設立50周年記念の年に優勝出来まして、チーム一同大変喜んでます。ピッチャーを中心とした守りと、1点ずつ積み重ねる攻撃を全員がやった結果優勝に結びつきました。

県民総体は初めての出場ですが、今まで通りのソフトボールをして行きたいと思えます(右の写真は、MVP受章の本橋孝則投手)。



【準優勝のマツハシ49ers】

**【実年の部】** [23チーム]

7月29日 西遊馬公園 B面

さいたまクラブ	3 1 0 1 0 0	5
木崎小PTAソフト	0 0 1 0 1 0	2

(さい) 及川昭三—高橋一弘  
 (木崎) 吉嶺一富—横塚 亘  
 (三塁打) 富澤宏政[さ]吉嶺一富[木崎]  
 (二塁打) 佐藤礼治②・山崎二三夫[さい]  
 (MVP) 佐藤礼治[さいたまクラブ]  
 (審判) 横松伸二(球)・松浦 誠(一)  
 五木茂穂(二)・石井 正(三)  
 (記録) 清水智衣子(戦評) 本間幸次  
 (広報) 斎藤 豊

**さいたまクラブ市民大会に続き  
 春季大会初優勝!!**



【春季初優勝・さいたまクラブ】

さいたまクラブ、初回二・一塁から富澤の三塁打、福島の内野安打で3点先制、2回佐藤の二塁打を送り内野ゴロの間に1点、4回にも二死より佐藤・山崎の2連続二塁打で1点を追加し逃げ切った。

木崎小PTAは4点を追う3回2連打と犠飛で1点、5回二死一塁から吉嶺の三塁打で1点を追うも後続を断ち切られた。

**さいたまクラブ・及川昭三監督**

◎暑さの中チーム一人ひとりが集中できました。これが勝利につながり優勝できました。ありがとうございます(下記の写真は表彰式で喜びのさいたまクラブ)。



【善戦むなしく準優勝の木崎小】

**【シニアの部】** [23チーム]

7月29日 荒川総合運動公園 B面

浦和 S G	3 2 5 0	10
大宮レインボーズ	3 0 2 0	5

(浦和) 佐藤和昭—兼子 修  
 (大宮) 荒井利明・福島英次—浅野 明  
 (本塁打) 遠藤達夫・坂田育男[大宮]  
 (三塁打) 高取 茂[浦和]  
 (二塁打) 朝比奈功一・稲垣忠男  
 兼子 修[浦和]坂田育男[大宮]  
 (MVP) 宮寺享三[浦和SG]  
 (審判) 丸田 豊(球)・大木千平(一)  
 信田正行(二)・浅村庸一(三)  
 (記録) 田口武雄(戦評) 本間幸次  
 (広報) 大塚妙子

**浦和SG、春季9年連続  
 10回目の優勝!!**

浦和SGは、初回2連打と3四球で3点先制、二回二死二・一塁から暴投と二塁ゴロの間に追加点、3回打者一巡の6安打で一挙5点を取り突き放した。

大宮レインボーズは1回遠藤の先頭打者本塁打に続いて5番坂田の本塁打と追いかけ同点、3回一死満塁とし坂田の二塁打で2点を追うも後続なく届かなかった。

**浦和SG・新野一男監督**

◎暑さに負けず、ベンチ・グラウンドが一体となり全員集中で勝利となりました。(通算14回目の優勝)



【MVPに輝いた浦和の宮寺享三選手】

◎浦和SGチームは全日本シニアの埼玉県予選会で代表権を獲得しましたので、9月29日～10月1日まで四国の丸亀市で開催の全国大会に出場します。



【準優勝・大宮レインボーズ】

【ハイシニアの部】 [7チーム]

7月16日 荒川総合運動公園 C面

さいたま65	7210	10
大宮レインボーズ	0300	3

(さい) 大戸和憲・荒井康男-磯 尚茂  
 (大宮) 碓田修三・松元元芳-中村允昭  
 (三塁打) 安藤良作・鈴木幸作[さい]  
 碓田修三[大宮]  
 (二塁打) 長谷川秀雄・小池義一[さい]  
 石黒政勝[大宮]  
 (MVP) 安藤良作[さいたま65]  
 (審判) 千葉俊也(球)・半澤武夫(一)  
 高橋與雄(二)・佐々木幸男(三)  
 (記録・戦評) 本間幸次  
 (広報) 神長伊佐男

さいたま65初回の集中打で  
 春季大会2度目の優勝!!!

さいたま65は、初回三連続四球を安藤の三塁打、鈴木・小池の連続長打で一挙7点を先制、二回二死二・一塁から鈴木の上遊間2点適時打と中押し、3回にも二死二塁から安藤の左前打でだめ押し1点と2人の投手を打ち砕いた。

大宮レインボーズは9点を追う2回碓田の三塁打・石黒の二塁打と3点取り追うも後続を断られた。



【春2度目優勝のさいたま65】

さいたま65・斉藤昭男監督

◎優勝は各個人がよく頑張って、チームを盛り上げてくれたお陰だと思います。秋の大会も頑張りたいと思います。

○ハイシニア大会の優勝は、さいたま65が4回、大宮レインボーが3回でしたが、今年から県大会出場の浦和SGが新規参入したので、実力伯仲戦が期待される。



【準優勝の大宮レインボーズ】

【レディースの部】 [11チーム]

7月29日荒川総合運動公園 A面

与野レンジャーズ	001000	1
美園フレンズ	010050	6

(与野) 今井菜月-上村沙織  
 (美園) 関口絵莉菜-柴崎史江  
 (三塁打) 柴崎史江[美園]  
 (二塁打) 上村沙織・松本 瞳[与野]  
 (MVP) 小池由起[美園フレンズ]  
 (審判) 棚沢敬治(球)・玉谷隆次(一)  
 佐伯正夫(二)・片山 茂(三)  
 (記録) 野中新介(戦評) 本間幸次  
 (広報) 田口秀夫・大塚妙子

美園フレンズ春3年振り  
 3度目の優勝!!!

美園フレンズは、同点で迎えた5回、4連打・打者一巡の猛攻で5点を取り突き放した。

与野レンジャーズは1点を追う3回二死二塁から上村の二塁打で1点を返し、同点とするも、美園・関口投手の前に後続を断られた。

◎ 与野レンジャーズは新加盟で平均年齢20歳の若さで快進撃。迎える美園フレンズは熟練の技で活躍を阻止、ベテランの意地を見せる。



【美園フレンズ通算6度目の優勝飾る】

美園フレンズ・安藤政男監督

◎今年初めて参加した与野レンジャーズの優勝を阻止したかった。



【MVP・小池由起選手の名人芸】



【初参加準優勝の与野レンジャーズ】

【中学生女子の部】 [35チーム]

平成24年度さいたま市  
 中学校学校総合体育大会

期日：平成24年6月2日～7日  
 会場：荒川総合公園・浦和総合軟式  
 試合方式：トーナメント戦

【準々決勝戦】

春里中学校	12-1	木崎中学校
内谷中学校	7-0	指扇中学校
植竹中学校	8-4	土屋中学校
三室中学校	7-1	八王子中学校

【5位決定戦】

八王子中学校	10-0	木崎中学校
--------	------	-------

【準決勝戦】

春里中学校	5-2	内谷中学校
三室中学校	4-3	植竹中学校

【決勝戦】

春里中学校	7-0	三室中学校
-------	-----	-------

☆赤字の上位5校が県大会出場



【3連覇の春里中学校】

第7回さいたま市ソ協  
 会長旗争奪中学校大会

8月18日に各学校の校庭で予選リーグをスタート。途中雷雨で中止になる会場もあり、5日間の大会となる。暑い中選手も審判員も何かと大変な行事であった。

決勝戦に於いては、試合途中で球審が体調不良になり交代するという、余り例のない大変な試合であった。

期日：平成24年8月18日～26日  
 会場：各中学校校庭・荒川総合運動公園  
 参加：8ブロック・34校

決勝戦 8月26日 荒川総合D面

春里中学校	001000	1
植竹中学校	000101x	2

(春里) 山北千裕-中山香穂  
 (植竹) 大沢真琴-室井萌那  
 (二塁打) 大沢真琴[植竹]  
 (MVP) 大沢真琴[植竹中学校]  
 (審判) 岡田 貢・大久保汎(球)  
 小林守信(一) 吉村大菊(二) 羽村章(三)  
 植竹中は、4回吉本・代の連続安打で同点とし、6回内田・松澤がバントで出塁し、4番吉本のセンターオーバーの二塁打でサヨナラ勝、初優勝を飾った。

春里中は3回山北のセンター前の適時打で1点先制するも、大沢投手に抑えられ惜敗であった。(広報担当・山内 涉)

**【小学生男子の部】** [17チーム]

7月16日 荒川総合運動公園 C面

太陽フェニックス	9 0 0 1	10
さくらフェニックス	0 0 0 0	4

(太陽) 山内惟久夏・萩原怜仁・伊藤 亮  
(さく) 斉藤武琉・後藤佑介・平山楓太  
(二塁打) 中村駿佑[さく]

(MVP) 山内惟久夏[太陽フェニックス]

(審判) 半澤武夫(球)・小野俊英(一)  
斉藤政勝(二)・川口重雄(三)

(記録) 野中新介(戦評) 本間幸次

(広報) 神長伊佐男

**太陽フェニックス・春4連覇!!!  
春・秋通算9度目の優勝**

太陽フェニックスは、初回相手投手の乱調につき打者15人を送り大量9点、4回には四球を挟み連打でだめ押しの1点と突き放した。太陽は春秋併せて9度目の優勝。

さくらフェニックスは2回中村の二塁打が出るも後続なく、山内投手の前に1安打完封を喫した。

**太陽フェニックス・植野勝也監督**

◎このチームは6年生は2人のみで、初めは優勝できるチームではなかったが、5年生が力を付けてくれて優勝することが出来ました。今後も基礎練習を重ねて、関東大会での1勝を目指して頑張ります。



【9度目の優勝・太陽フェニックス】



【準優勝のさくらフェニックス】

**県民総体代表決定戦**

県民総体出場の決定戦が行なわれ、文蔵ソフトボール少年団が6-5で宮前ヒーローズを下し、上位の2チームと共に県民総体の代表となる。

**【小学生女子の部】** [3チーム]

7月月1日 北部工業団地記念公園D面

◎小学生女子の部は、総当りのリーグ戦で順位を決定し、2勝0敗の指扇ライオンズ女子が優勝した。

**【第1試合】**

常盤スポーツ少年団女子	14 1 5	20
沼影ソフトボール少年団	0 0 0	0

(常盤) 姫島 響一石井萌々夏  
(沼影) 三須春花一中澤玲香  
(審判) 半澤武夫(球)・亀谷清司(一)  
山田敬二(二)・上平賢士(三)  
(記録) 野中新介(戦評) 本間幸次  
(広報) 松本文夫(3試合共)  
(完全試合・3回参考記録)

**【第2試合】**

常盤スポーツ少年団女子	0 0 1 0	1
指扇ライオンズ女子	3 1 6 x	10

(常盤) 姫島 響一石井萌々夏  
(指扇) 鈴木梨奈一田波雛子  
(本塁打) 鈴木梨菜[指扇]  
(三塁打) 田波雛子[指扇]  
(二塁打) 上平沙加[指] 脇山美沙季[常]  
(審判) 染谷和良(球)・笹川義康(一)  
山本一美(二)・広瀬史彦(三)  
(記録) 清水智衣子(戦評) 本間幸次

**【第3試合】**

沼影スポーツ少年団	2 0 2 1	5
指扇ライオンズ女子	0 2 9 2x	13

(沼影) 三須春花一中澤玲香  
(指扇) 鈴木梨奈一田波雛子  
(本塁打) 宮崎茜音・大石和佳奈[指扇]  
緑川愛美[沼影]  
(三塁打) 石田和花奈[指] 古井里佳[沼]  
(二塁打) 小暮優花・宮崎茜音[指]  
(MVP) 田波雛子[指扇ライオンズ女子]  
(審判) 斉藤政勝(球)・染谷和良(一)  
船山 純(二)・姫山英樹(三)  
(記録) 野中新介(戦評) 本間幸次

指扇は、2回無死一塁から宮崎の本塁打で2点、3回3連続敵失の後大石の走者一掃の本塁打で計9点を取り、4回2点を取りだめ押しとなった。(5度目の優勝)

沼影は初回3連打で2点を先制、3回緑川の本塁打と2連打で2点を取り追うも大量失点を還すことは出来なかった。

**指扇ライオンズ女子・川村秀明監督**

◎6年生が1名のチームで、春先は調子を落としていたが、ここへ来てチームワークが良くなり優勝することが出来ました。

**【優勝の指扇ライオンズ女子】**



**平成24年度  
春季大会を終了して**

副会長 永田 喜雄

4月1日から始まった春季大会、小学生からハイシニアまで11の部門で予選リーグ戦・決勝トーナメントが繰り広げられました。累計で参加チーム数264、試合数335試合という大所帯での熱戦でした。

優勝した各チームの皆さんおめでとうございます。日頃の練習の成果と監督を中心としたチームプレーが見事に実った結果と心から祝福申し上げます。



【永田副会長】

これからは、さいたま市の優勝チームは市代表として県大会をはじめ多くの対外試合を行います。どうか、存分に戦ってまた大いに楽しんできてください。健闘を期待しております。

平成24年度の春季大会を振り返ってみたいと思います。

普段は野球で使用している宝来運動公園・西遊馬公園は、ボールがころころ転がってセンターのはるか後ろまで取りに行く外野手の苦勞は多くの方が経験しているところです。そこで今年から外野ネットを張りました。大変好評のようで、予算や保管のこともありますが、北部工業団地記念公園にもと考えております。外野での玉際間一髪的好プレーが増えることでしょう。

熱射病やプレー中の事故で救急搬送された方もおりました。後で聞いてみると「若いと思ったんだが・・・」とのことでした。土曜の夜更かし・・・などは非気をつけてください。また、いざという時いつも頼りになる救急隊の皆さんありがとうございます。

戦術的には、強豪チームに好投手ありは勿論ですが、バント、バスターエンドラン、ダブルスチールなど足を絡めた攻撃が目立っていました。特に県大会や関東・全国などを経験したチームは、ただ振り回すだけでは勝てない、足にはスランプがない、こう感じ取っているからでしょう。

春、秋を通して14回優勝の浦和SG、6回的美園フレンズ、9回の太陽フェニックス、皆さんは本協会の至宝です。1回の優勝でも大変なこと、14回と9回・・・頭が下がります。どうか伝統を守り育てていってください。

最後に、猛暑の中頑張ってくれた審判員の皆さん、記録員の皆さん、協会役員の皆さん、ありがとうございました。そして全てのご家族に感謝し、春季大会の感想いたします。

春季大会優勝チーム・最優秀選手名簿

種別名	チーム名	選手名
男子1部	浦和ツインズ	小林 大祐
男子2部	和土小ソフト	田口 雅宏
男子3部	デ・カンタソフト	翁長 明菜
壮年の部	高砂小PTAソフト	本橋 孝則
実年の部	さいたまクラブ	佐藤 礼治
シニアの部	浦和 S G	宮寺 享三
ハシニアの部	さいたま65	安藤 良作
レディースの部	美園フレンズ	小林 由起
中学生女子	春里中学校	大沢 真琴
小学生男子	太陽フェニックス	山内惟久夏
小学生女子	指扇ライオンズ女子	田波 雛子

平成24年度県民総体出場チーム

種別名	チーム名	会場	開催月日
一般男子	浦和ツインズ	越谷市	10/21・28
壮年	高砂小PTAソフト マツハシ49ers URAWA S.B.C	三芳町	9/16・23
実年	さいたまクラブ 木崎小PTAソフト同好会	深谷市	10/21・28
シニア	浦和 S G 大宮レインボーズ	戸田市	11/4・11
一般女子	美園フレンズ	加須市	11/4・11
小学男子	太陽フェニックス さくらフェニックス 文蔵ソフト少年団	川口市	10/20・21
小学女子	指扇ライオンズ女子	北本市	10/13・14

春季大会を支えていただいた、審判員・記録員・競技委員と役員の皆さん



《 専門部訪問・第1回 》  
審判委員会

第1回の専門委員会訪問は、チーム数639、試合数927試合、この組織の現場運営を支える審判委員会をたずねた。

日本列島が猛暑にみまわれ熱中症、節電が日常の挨拶になる8月25日片柳コミセンをたずねたら、『24年度第2回中央支部審判員スキルアップ研修会』が行われていた。

この研修会は、若手審判員の育成を目的としたものであるが、ルール解釈や審判実技の向上を目指し、市内審判員であれば誰でも自由に参加できる研修会である。当市の審判員は、市ソ協の審判以外にも、小学生・中学生・高校生の大会や市外の全国・関東・県大会へと中央支部となったため、派遣が激増している。

これら高いスキルが要求される大会へ派遣するための人材を育成することは急務であるため、今後は昇級試験受験希望者をはじめとして、知識・技術の向上を希望する審判員に研修の機会を提供するとのことであった。

第1回 7月21日片柳コミセン 18:00~21:00 19名参加

第2回 8月25日片柳コミセン 18:00~21:00 14名参加

第3回 9月22日荒川総合会議室(座学) 9:30~12:00

荒川総合グラウンド(実技) 13:00~16:00

第4回 10月中旬予定

今回取材した第2回研修会では、審判員の心得、試合開始前の確認事項、ルールの○×問題、D P・F P各ケースでの処置方法の事例研修および選手交代・守備位置の変更についての対応方法や副審記録の記載方法について研修が実施された。

選手交代や守備位置の変更については、山内審判長が監督役となり、これを研修生が球審役と副審役とに別れ監督の通告を受けた時の処理を、早く正確に処理するための実践的な研修を行った。

岡田講師はポイントとして、

① 通告は、打順表で必ず確認する。  
② 選手交代は必ずアウトをする選手を告げ、そこの打順に入る選手を伝える。

③ 選手は背番号(またはUN)○○、打順は○番、守備位はシート番号ではなく、守備位置の名称で伝える。特に、選手の交代と守備位置の変更が重複する場合に、処理に時間がかかるケースが多いので、例えば「レフトのUN○に代わりUN○が入りサード、サードがレフト」のような表現を覚えて下さい。また、副審の重要性についても、「手元に必ずルールブックとケースブックを置き、いざという時に適切な助言を球審にできるように、試合に入っている審判員と同じ気持ちで、試合に集中するように心がけてください」との、講義がされました。

本研修会は、土曜日の夜ということで、参加者の多くは昼間の審判活動を終了後に研修会に参加していますが、疲れているにも関わらず、真剣に講義の内容に取り組んでおり、内容も実戦に即した文字通りのスキルアップ研修で、活気が感じられ臨場感ある研修会だった。

本研修会を継続的に開催することで、当市の審判員のスキルが向上し、円滑な大会運営が図られるものと期待される研修会であると感じられた。  
(取材・田口秀夫)



## 全国大会出場チーム紹介及び 埼玉県大会・中央支部大会結果

### 【中央支部大会結果】

#### ◎代表決定戦のみ抜粋

- 日本スポーツマスター兼関東エルダー  
支部予選会なし、直接県大会へ  
全日本小学生兼関東小学生(男子)  
さいたま少年ソフト14-1 赤羽スポ小  
さくらフェニックス9-1 常盤スポ小  
太陽フェニックス1-0 文蔵ソフト少年団  
全日本小学生兼関東小学生(女子)  
指扇ライオンズ女子14-2 常盤スポ小  
全日本壮年兼スポーツマスター  
支部予選会なし・4チーム代表  
全日本シニア兼関東シニア  
大宮レインボーズ5-4 与野ファイターズ  
浦和SG25-0 城北小シニアクラブ  
全日本一般男子兼関東クラブ男子  
上木崎小PTAソフト7-1 大牧ソフト  
全日本レディース兼関東レディース  
予選会なし、直接県大会へ  
全日本実年兼東日本ミズノオープン  
さいたまクラブ、城北小MC 代表  
全日エルディスト兼関東エルディスト  
予選会なし、直接県大会へ  
ミズノオープン一般男子大会  
土合小PTAソフト9-4 新曲輪クレイズ  
全日本ハイシニアソフト大会  
浦和SG6-3 大宮レインボーズ  
土屋会長旗(男子)大会  
土合小PTAソフト7-2 North Area  
土屋会長旗(女子)大会  
まるまるず5-2 サウス  
春季スーパーシニア中央支部会長杯  
**第1回大会さいたま65が優勝**

大宮レインボーズ6-1 JHPセブンティ  
さいたま65 8-2 JHPセブンティ  
さいたま65 5-4 大宮レインボーズ  
さいたま65 齊藤昭男監督  
◎チームワークのお陰とします。個人々々、ミス無しで頑張ってくれました。  
和田隆雄中央支部会長講評

◎皆さんの仲間の浦和SGが、シニアの埼玉県大会で優勝しました。本日は3試合とも澁刺とした試合でした。健康に恵まれ仲間に恵まれ、スポーツできる事をありがたいと思います。さいたま市ソフトボール協会のお手本としてこれからも頑張ってください。



【第1回春季大会優勝のさいたま65】

### 【埼玉県大会結果】

#### 関東スーパーシニアソフト県予選会

- 大宮レインボーズ 第3位  
○さいたま65 2回戦進出  
○JHPセブンティ 2回戦進出  
全日本小学生兼関東小学生(男子)  
○太陽フェニックス 準優勝  
○さいたま少年ソフト 第3位  
上記2チームは関東大会へ  
○さくらフェニックス 1回戦敗退  
全日本小学生兼関東小学生(女子)  
○指扇ライオンズ女子 1回戦敗退  
日本スポーツマスター兼関東エルダー  
○サウス 2回戦進出  
全日本壮年兼スポーツマスター  
◎URAWA S.B.C 優勝!!  
熊本市熊本市で開催の  
全国大会へ(9/7~9/9)  
○OMIYA CLUB 壮年 第3位  
○RERIZE 2回戦進出  
○城北小ソフトクラブ 1回戦敗退  
全日本シニア兼関東シニア  
◎浦和SG 優勝!!  
香川県丸亀市で開催の  
全国大会へ(9/29~10/1)  
○大宮レインボーズ 1回戦敗退  
全日本一般男子兼関東クラブ男子  
○上木崎小PTAソフト 2回戦進出  
全日本レディース兼関東レディース  
○まるまるず 1回戦敗退  
全日本実年兼東日本ミズノオープン  
○さいたまクラブ 2回戦進出  
○城北小MC 1回戦敗退  
全日エルディスト兼関東エルディスト  
○シルバーウイング 準優勝

- 山梨県中央市で開催の  
関東大会へ(10/12.13)  
ミズノオープン一般男子  
◎土合小PTAソフト 準優勝!!  
岩手県花巻市で開催の  
東日本大会へ(10/20.21)  
全日本ハイシニアソフト大会  
○浦和SG 第3位  
本年度のねりんピックは主催地の  
都合で開催なし(宮城県)

### 【関東大会結果】

#### 関東シニアソフトボール大会

- 浦和SG 第3位  
(平成23年度大会準優勝で出場)  
関東小学生男女ソフトボール大会  
【男子】  
○太陽フェニックス 1回戦敗退  
○さいたま少年ソフト 1回戦敗退  
【女子】  
○指扇ライオンズ女子 1回戦敗退  
大会の結果は、9月2日現在

## 県大会代表決定戦結果

☆全日本壮年兼日本スポーツマスターズ大会(男子)が、4月29日・5月6日に白岡町で開催され、URAWA S.B.Cは決勝戦で強豪「中央ローハス」を3対2の雨中コールドで勝利し、全国大会(熊本市)への切符を獲得した。

[投手]本橋孝則、[捕手]柳沢孝之  
[本塁打]高橋博  
[二塁打]柳沢孝之・佐藤博明・石田剛



【雨中での記念撮影・URAWA S.B.C】

☆全日本シニアソフト大会が、6月10日・17日ふじみ野市で開催され、3試合とも圧倒的勝利で、決勝戦も「シニア鶴ヶ島」を5-0で下し代表権を獲得した。



【圧勝で優勝の浦和SGチーム】

## 埼玉県ソ協・中央支部予選会 会場用ボードお披露目!!

『今年行なわれる中央支部の予選会の会場では是非使用してください』と、田口正光中央支部副審判部長より、下記写真の立派なボードが2基寄贈され、4月7日開催の全日本小学生男女ソフトボール大会中央支部予選会でお披露目しました。大事に使用させていただきます。ありがとうございます。



**日本ソフトボール協会功労賞  
さいたま市体協10周年記念感謝状**

上記2団体より受章者の推薦を依頼されました。常任理事会で検討した結果、日本ソフトボール協会の功労賞は、発足当初より市ソ協副会長として尽力されている田中勉副会長。市体協10周年記念感謝状は、市ソ協を代表して市体育協会理事としてご活躍されている浅見 茂理事長を満場一致で推薦いたしました。

**日本ソフトボール協会  
功労賞の推薦を受けて**

さいたま市ソフトボール協会  
副会長 田中 勉

ソフトボールとの出会いは昭和48年、職につくと同時に訪れ、小学校の地域対抗のチームの監督を新任ながら任されたことから始まる。

その縁で先輩より勧められ「大宮市ソフトボール協会」の一員として末席をけがすこととなる。

まず、自らが公認審判の資格をとるとともに数々の大会運営に携わる。

当時、生涯スポーツが叫ばれ、ソフトボール競技が飛躍的に発展していく。チーム数が増えるとともに大会数も増え、大会会場の確保に四苦八苦する。大会を充実させるために要となる公認審判員を増やすことに務め、認定会を積極的に開催する。その後、市の大会だけでなく、家庭婦人、近隣少女、準シニア大会等を加え、市ソ協主催の春・秋の大会を増やした。大宮市ソ協では、事務局長、理事長を務めさせていただき、平成4年に副会長として任にあたる。

平成15年には苦難の上、三市合併により「さいたま市ソフトボール協会」が誕生。やがて岩槻市が加わり、本年設立10年を迎えようとしている。副会長として会長を補佐し、ますますソフトボール競技が生涯スポーツの一端として振興発展するよう願っている。

**審判員・記録員認定会予定**

[第1種公認審判員認定会]

11月24・25日大宮工業高校

[第2種公認審判員認定会]

10月28日桶川市川田谷生涯学習センター

[第3種公式記録員認定講習会]

12月16日 岩槻駅東口コミュニティセンター

**「東日本大震災復興支援」  
「とどけよう スポーツの  
力を東北へ！」**

**会員からの便り**

**『道祖土ファイターズ』**

高橋 義勝

私の故郷は、宮城県気仙沼市です。東日本大震災で多くの市民の方、友人が被災し、亡くなった方も多数です。

私の姉も亡くなりました。兄のお嫁さんも依然行方不明です。

私が田舎へ帰ると「道祖土ファイターズの調子はどうかね・・・」と、いつも温かく迎えてくれた二人でした。残念で仕方ありません。

さいたま市ソフトボール協会の役員、そして各チームの皆さん、この度はたくさんの義援金をありがとうございました。東北出身の自分としても大変嬉しく感謝でいっぱいです。どうかこれからも「頑張れ東北」と応援してください。

また、気仙沼の皆さん、皆さんは一人ではありません。どうか頑張ってください。



**雨天判定について**

当日の開催可否及び雨天事などの中止決定基準を6月の常任理事会で検討し、下記の如く決定した。

- [1] 天候不良などで開催が危ぶまれる場合は、当日の会場責任者・競技委員・審判委員の代表者が6時15分までに現場に集合し、開催の可否を決定。6時30分頃までにホームページに掲載。天候の回復が見込める場合は、様子を見るため決定を遅らせる場合もある。
- [2] 降雨・雷雨の場合の判断は、一時中断し、本部役員、審判責任者、競技責任者で協議する。天候が回復する場合もあるので、即中止にしないで30分程度様子を見てから決定する。
- [3] 光化学スモッグ注意報が出た場合は中断し、両チームの監督に選手の健康状態を確認し、具合の悪い選手がいれば交代をさせてから試合を再開する。まず出ないが警報が出た場合は即中止。

**【雨天判定のURLを変更】**

市民体育大会より、開催の可否を確認するホームページのURLを変更しました。ケータイの登録を変更してください。

<http://stmcy.sblo.jp/>

**◇◇チーム・人物紹介 (10) ◇◇**

**『カスラーズ』**

監督 松澤 賢二

我々カスラーズは、昭和54年頃大和田・蓮沼地区を中心に地域の交流を深めようと集まったメンバーで結成されたチームです。名前の由来は、当時初心者が多く、まともにキャッチボールも出来ず、バットにもかすらない人が多くいた為、「カスラーズ」になったと聞いております。

そんなカスラーズも、平成13年県民総体優勝、旧大宮市ソフトボール選手権大会(大会3連覇含む)4回優勝、さいたま市一般男子1部では平成17年・23年に市民体育大会で優勝することが出来る位のチームになりました。

今のチームの現状としまして、主将の石川君を中心に38~40才のメンバーが多く、体力・技術的にも衰えを感じてきてはいますが、昨年のさいたま市誕生10周年記念事業の市民体育大会で優勝出来た事はチームとして大変励みになり自信に繋がりました。最近では若い選手が入り、活気のあるチームが増え厳しい試合が多くなってきましたが、カスラーズの良さであるチームワークで一つひとつ大事に戦って行きたいと思えます。いつまでもチャレンジ精神を忘れず、ソフトボールを続けて行けるよう日々努力したいと思えます。

最後に、運営して下さる市ソ協の役員、審判員、競技員の皆様に感謝いたします。

**編集後記**

◎市ソ協役員総数248名(2/12)  
地区の重鎮、チームの創設者、中心的プレーヤー、二つ三つと委員会を掛け持ちしている方。共通点はソフトボール大好き人間。  
春季大会では常連チームに交じり猛暑の中「和土小ソフト」「デ・カンタ」「植竹中学校」が快進撃。若手・新進のチームの台頭が目覚ましい。若手の待望論も久しいが、誰でも出来る部署ではなく、専門知識と手腕で協会を支える各専門部会の活動状況を今号より特集しました。よって恒常的役員不足、後進育成中を広く周知いただき、気鋭の方の参画をお願いします。

(広報委員長・田口 秀夫)

◎会報発行10年・20号になりました。高齢でもあり、毎日病院通いでチョットお疲れ気味です。ヘルプ! (広報・榎本 靖二)

**さいたま市ソフトボール協会  
事務局**

さいたま市見沼区小深作485-1  
眞嶋久美子 方(〒337-0005)

[広報誌編集委員会]

永田 喜雄・田口 秀夫・榎本 靖二  
山内 渉・斉藤 豊・松本 文夫  
岡田 貢・友光 節夫・神長伊佐男  
信田 正行・清水智衣子・大塚 妙子